

Rational® software

## IBM Rational Asset Manager

### ハイライト

- サービスのデリバリーを加速し、SOA のライフサイクル全体にわたるガバナンスを向上
- プロジェクトの進行を促進し、アセットベースの開発、ウェアハウジング、およびベスト・プラクティスによってイノベーションを推進
- 異なるチーム間に確かなコミュニケーションを提供し、作業のやり直しを軽減
- リスクを軽減し、コンプライアンスの維持に必要なコストを削減

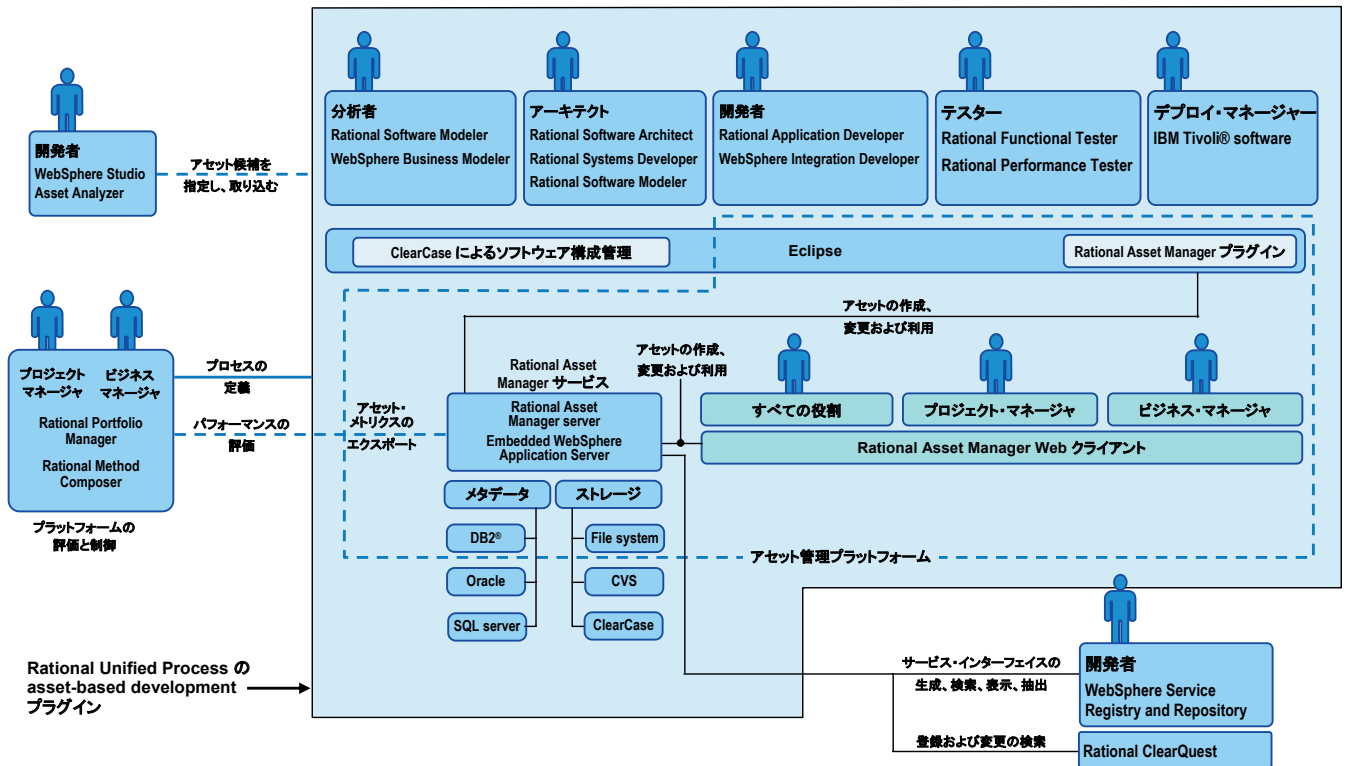
IBM® Rational® Asset Manager は、チームが協力してソフトウェア開発アセットを管理するソリューションです。この製品を使用すれば、SOA サービスを含むソフトウェア・アセットを整理して管理でき、その設計、開発、使用頻度を統制できます。IT部門は、ソフトウェア・アセットを再利用することにより、開発コストを調整しながら、次々にソフトウェアを開発することができ、ビジネスに対する柔軟性および対応の速さを改善しながら、革新的なITソリューションを提供できます。

Rational Asset Manager を使用すると、アプリケーション開発の生産性は向上し、開発者はソフトウェア開発に関わるアセットの再利用が可能になります。例えば、SOA 開発ライフサイクルを通じてサービス・アセットの作成、検索、追跡を行えます。また、アクセス権やレビュー承認フローを細かく設定して、開発メンバーに作業を強制し、監査に対応できるよう事前に定義されたプロセスに従って、アセットの整合性および活用度合いをモニターすることもできます。

### 効率的なアセット管理の実現

Rational Asset Manager の開発時アセット・リポジトリーは、テクニカル・マネージャー、分析者、設計者、開発者、テスターなど開発にかかわる全ての役割の方が作成するあらゆるアセット(アプリケーション、コンポーネント、サービス、およびパターンなど)を管理できます。アセットを登録すると、このリポジトリーは、アセットに対する統制、分類、アクセス制御、そして使用頻度を測定します。

Rational Asset Manager は、Rational およびIBMのソフトウェアと連携することができます。例えば、構成管理を行う Rational ClearCase® や変更管理を行う Rational ClearQuest® と、またアセットを開発する Rational アーキテクチャー管理製品と連携できます。さらに、本番環境で稼働中の SOA アセットを管理するために、WebSphere® Service Registry and Repository と密接に連携できます。



Rational Asset Manager のソフトウェア・アセットの開発時リポジトリには、Web クライアントまたは Eclipse クライアントからアクセスされ、ほかの IBM ソフトウェアとも連携できます。

## アセットの再利用を促進

Rational Asset Manager はアセット管理を実現するために、アセットのメタデータにアセット自体の名前、説明、バージョン、状態に加え、そのアセットに含まれる成果物の名前、説明、バージョン、参照先（または場所）を定義します。ソフトウェアの品質を向上しながら開発のコストと時間を削減するために Rational Asset Manager は Object Management Group (OMG) による業界標準の Reusable Asset Specification (RAS) に準拠しています。この仕様では、アセットをアセットベースの開発の一部として記述しています。また、アセットの構築、使用、および管理の記述によってモデル駆動型アーキテクチャーを補完します。Rational Asset Manager には、WebSphere Service Registry and Repository など、ほかのリポジトリやレジストリーと統合するために必要な追加のメタデータが含まれ、SOA サービス・ライフサイクルに対する完全なサポートを提供します。

## 拡張性のあるアセットの共有と再利用の実現

今日の企業は、組織内のコンポーネントとアセットを共有する試みを既に始めています。企業の多くが、再利用可能なアセットを所有しているにもかかわらず、それを再利用するための効率的な戦略に欠けているのが実情です。ほとんどの企業では、アセットを追跡するために専用のスプレッドシートを使用するか、またはローカルドライブまたは共有ドライブのアセット・ストレージを使った自社製アセット管理フレームワークを所有しており、それらすべてが、コンプライアンス上の問題に発展する可能性を含んでいます。アセットの数やバージョンが増大したり、チームが世界中に分散した場合に、スプレッドシートを単純に拡大するというわけにはいきません。さらに、カスタムビルトのソリューションは、維持管理と拡張にコストがかかります。Rational Asset Manager は、ソフトウェアを再利用するためのスケールラブルでコスト効率の高いソリューションです。知的財産の安全を確保しつつ、ローカル/グローバルを問わず、組織全

体にわたってアセットの定義、作成、共有、および管理を可能にするフレームワークを提供します。

## オープン・ソース・コンポーネント管理の改善

現在、多くの企業が複雑で多様なオープン・ソース・コンポーネントを使用しており、企業全体で、何が、どれくらい使われているかを把握し、管理することに苦労しています。企業は、承認されたオープン・ソース・アセットを検索して見つけ出すための一元的なプロセスを必要としています。また、オープン・ソース・アセットを含んでいるアセットを特定する手法も必要となります。さらに IT 部門は、それらのアセットのどのバージョンが、企業のアーキテクチャーと互換性があるかを提示する必要があります。オープン・ソース・アセットをいかに管理するかが IT ガバナンスの重要なカギとなります。

Rational Asset Manager は、承認済みアセットを検出し、それを理解するために開発

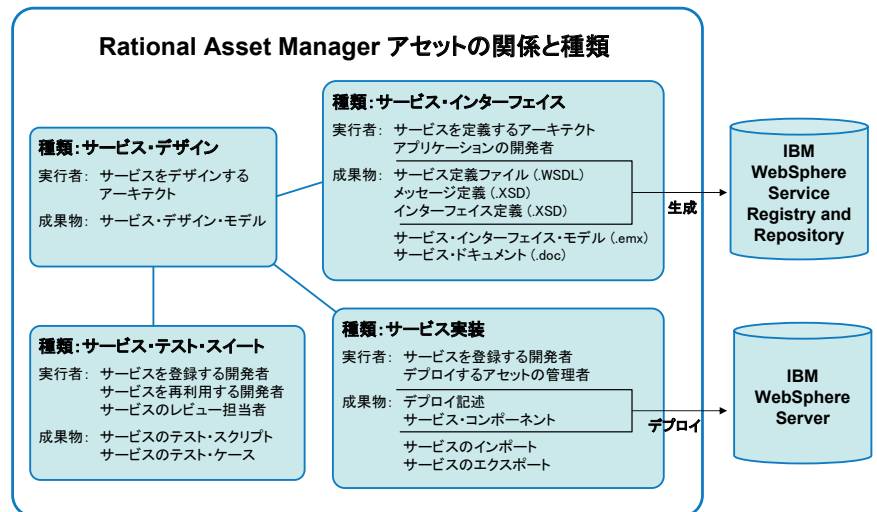
者が費やす時間を抑え、開発チームの生産性を向上させます。また、管理する分散アセットの数が少なければ、実働システムのアセットを管理するために必要な教育コストも低く抑えることができます。

## エンド・トゥ・エンドの アセット・ライフサイクルの実現

Rational Asset Manager は、Rational ClearCase や Rational ClearQuest などの開発ツールと統合することにより、サービス・アセットの開発や保守を容易にします。

Rational Asset Manager は、サービス・アセットの登録時に、それを定義するツール（アセット・タイプおよびレビュー機能）を提供します。例えば、サービスは、テスト・スイート、テスト・データ、実装、およびインターフェースと共に定義する必要があります。また、Rational Asset Manager では、新しいアセットを作成する時、正しく成果物が登録されるよう、アセット・タイプの定義を強制します。これにより、実装するソースコードを変更した場合、また不具合を発見した場合、どのサービス・アセットに影響が出るかを特定でき、安心してサービスを実行環境にデプロイし、サービス・レジストリーへの生成を行えます。

Rational Asset Manager で管理するサービスに対するアセット・タイプ構成に関係なく、ユーザーが作成するサービス・アセットは WebSphere Service Registry and Repository と同期するように設計されています。Web Service Description Language (WSDL)、XML スキーマ定義 (XSD)、または XML を含むサービス・アセットの ID は、リポジリー間の参照を保持するために使用されます。



サービスは、必要なすべての成果物を含む単一のアセット・タイプとして定義できます。あるいは、そのサービスを、サービス・インターフェース、サービス実装、サービス・テストなど、多くのアセット・タイプに分解することもできます。

## 参考情報

IBM Rational Asset Manager の詳細につ

いては次のサイトを参照してください。

[ibm.com/jp/software/rational/](http://ibm.com/jp/software/rational/)

## IBM Rational Asset Manager の機能および利点



機能	利点
アセットの登録、ダウンロード、更新、パッケージ化	アセットの種別、属性、アセット間の関連性といった要素に基づき、アセットを分類できます。アセットへは、WebもしくはEclipseクライアントからアクセスでき、あらゆる種類の成果物(ドキュメント類、モデル、ソースコード、DLL、要件など)をアセットとパッケージ化できます。
セキュリティとアクセスのコントロール	グループ、ロール、ユーザー、アセット種別といった詳細なレベルでの権限設定機能により、アセットを保護します。
検索	カテゴリ、キーワードにより、テキストファイルだけでなく、Microsoft® WordやPowerPointファイル、ear、war、zipファイルの中身に対する検索も可能です。
ワークフローとレビューボード	レビューワークフローおよび承認ワークフローにより、アセットの利用状況をレビューし、追跡し、監視することができます。
メトリクスとレポート	アセットの使用状況を追跡し、その結果をアセットにフィードバックしてレポートします。
コラボレーション	アセットが変更された時や新しいアセットが利用可能になった際に、ディスカッション、eメールやRSSフィードなどを利用して広範にコラボレートできます。
ユーザーインターフェース	Rational Application Developer、Rational Software Architectなどの開発環境と統合できる、Eclipseクライアントを提供します。また、Webクライアントを使用すれば、世界中どこからでもアセットへアクセスできます。
プロセスガイダンス	Rational Method Composerを使えば、アセットベース開発のガイダンスが利用できます。
アセットのバージョン作成、更新	Rational ClearCase、CVS、Rational ClearQuestおよびWebSphere Service Registry and Repository等との統合により、運用中のアセットを含む全アセットのバージョン管理が実現します。
SOAガバナンス	WebSphere Services Registry and Repositoryとの統合により、開発から運用にわたる全アセットに対してリアルタイムの横断検索とパブリッシングが可能となります。

お問い合わせは、IBMビジネスパートナー、製品販売店、弊社営業担当または、ダイヤルIBM (0120-04-1992)へ。受付時間: 月～金9:00～18:00 (祝日12/30～1/3を除く)携帯電話でおかけのお客様は下記の電話番号をご利用ください。ダイヤルIBM 03-6220-8002(この場合通話料金はお客様のご負担となります。)

Copyright IBM Japan, Ltd. 2007  
日本アイ・ビー・エム株式会社  
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12  
Produced in Japan  
August 2007  
All Rights Reserved

このカタログの情報は2007年8月現在のものです。内容は事前の予告なしに変更する場合があります。表示画面および印刷帳票の出力例のうち、特に断わり書きのない出力例のデータ部分は全て架空のものです。画面ははめ込み合成で実際の表示とは異なります。製品、サービス等詳細については、弊社もしくはIBMビジネスパートナーの営業担当員にご相談ください。

ClearCase、ClearQuest、DB2、IBM、IBM ロゴ、Rational、Rational Unified Process、RUP、Tivoli、WebSphere は、International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における商標です。

Microsoft は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。